

障害のある人の セクシュアリティと 多元的共生

一般、学生、教職員対象 予約不要、入場無料

日時 2017年9月30日(土) 13:30～16:00

13:30～14:00 基調報告(河東田 博)

14:00～15:15 講演(坂爪 真吾氏)

15:15～16:00 対談

場所 立教大学池袋キャンパス 11号館3階 A301教室

昨今多元的共生社会を積極的に目指そうとする動きがみられてきている。しかし、未だに無視され・迫害され、偏見や誤解を受けている人たちが大勢いる。性的マイノリティの人たちも例外ではない。そこで、性的マイノリティの人たちが置かれている実態を掘り下げ、課題解決のためにはどうしたらよいかを検討することを目的として連続公開セミナーを開催する。第1回目のセミナーでは、障害のある人のセクシュアリティを取り上げ、他者と同じ価値や可能性を持てるようにするためにはどうしたらよいかを検討する。まず、河東田博(浦和大学特任教授・立教大学社会福祉研究所所員)が基調報告を行い、坂爪真吾氏より講演をいただく。最後に河東田所員と坂爪氏が対談(質疑応答を含む)を行う。

講師 坂爪 真吾氏

(一般社団法人ホワイトハンズ代表理事)

1981年新潟市生まれ。東京大学文学部卒。東大在学中に、歌舞伎町の性風俗産業の研究を行う過程で性風俗産業の問題を知る。同大卒業後「性産業の社会化」をテーマに起業。2008年「障害者の性」問題を解決するための非営利組織・ホワイトハンズを設立(2011年一般社団法人化)。2014年12月社会貢献者表彰(社会貢献支援財団)、2015年5月新潟人間力大賞グランプリ(新潟青年会議所)等受賞。『性風俗のいびつな現場』(2016年、ちくま新書)、『セックスと障害者』(2016年、イースト新書)他著者多数。

